

松 風

■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑 120
 ■発行人 佐藤 克實

平成 24年度 総括幹事会開催

第 3 回

平成25年2月23日に新松戸キャンパス特別会議室にて、本年度最後となる第3回幹事会が開催された。役員および幹事 28名、事務局5名、オブザーバー1名が参加されました。まず、佐藤会長より挨拶があり、次に各議題について審議に入りました。年度末ということで例年通り、本年度決算、次年度予算および事業計画等が主として審議されました。



佐藤会長と 田中副会長



審議する幹事



幹事意見表明



新参加幹事挨拶-四国松永氏

審議事項

1. 平成24年度収支決算（案）について
2. 平成25年度収支予算（案）について
以下の表参照

3. 平成25年度校友会事業計画（案）

- ・行事ー卒業記念品贈呈
- ・会議
 - ・ 幹事会開催 年3回
(5月11日、9月14日、平成26年2月22日)
 - ・ 支部総会開催支援
一部負担方法が変更になった
通信費（開催案内、出欠葉書）
は全額本部負担
支部活動支援費は総会出席者数
実績（1人当たり2000円）により
援助、但し、実績報告による
 - ・ 職域支部通常総会支援
 - ・ 海外支部通常総会支援
- ・ 広報
 - ・ ホームページ運営
 - ・ 卒業生への校友会ガイドパンフレット配布
- ・ 大学祭援助（金）
つくばね祭、青春祭

- ・ 応援旗（校名幟）作成
50本
- ・ 諸行事援助

以上 承認されました。

4 人事異動

- ・ 幹事就任
南九州支部長 青木禎一郎 2期
12月8日支部発会式にて選出
四国支部長 松永敏男 2期
浜田氏、支部長、本部幹事ともに
退任（体調不良の為）
山形支部長 五十嵐進 4期
2月16日みちのく支部合同総会にて選出
- ・ 池澤校友会事務局局長退任
健康上の都合にて3月31日をもって
退任。後任は検討中

5. R K Uメールサービスの利用について

大学が所管するドメインを用いたメールアドレスを利用して卒業生への情報提供、卒業生間の交流を図る' R K Uメールサービス'の実施が検討されて

おります。

校友会としても校友会員と大学、会員同士、校友会より会員への情報発信などに活用する利便性が大き判断しました。

目的を実現するため積極的に参画することが承認されました。

6. 大学創立50周年記念事業について

前回幹事会にて校友会としての取り組み案等について幹事各位の考えをお聞かせ願いたいという話があり、幹事会開催前に事務局あてに提出することとした。

今回、提出案を一覧にし提案者各自にその案の説明をお願いした。

又、大学の事業予定とそれに対する校友会としての関与、校友会としての個別記念事業など基本的スタンスについての質問があった。

大学としてはまだ具体的な取り組み内容については固まっていない様だとのこと。引き続き情報収集に努める。

別に校友会としても独自の取り組み方があ。案をいろいろ検討してみようということになりました。

参考一提案された事業案例

・大学事業への協賛・駅伝支援・情報交換手段強化・寄付・記録誌・記念誌 (ex 各年代のOBの思い出、大学に対する想いなど) ・講演会・ 記念文庫、図書充実支援・応援歌・記念品・各地

での記念会合・旧職員等貢献者顕彰・記念碑・草創期各種資料の収集・海外交流支援、留学・記念イベントデー・OB総参集 など 次回ある程度とりまとめる。

平成24年度決算・25年度予算 (案)

項目 (単位千円)		24年度実績		25年度予算		
		内訳	計	内訳	計	
前年度繰越			202741		207218	
収入の部	会費収入	12040		12500		
	利息収入	408		587		
収入計			12448		13087	
支出の部	運営活動費	行事費	1840		2024	
		会議費	3485		5444	
		広報費	1561		1702	
		事務費	8		150	
		雑費	51		18	
		小計		6947		9338
	援助費	大学祭援助費	380		660	
		諸行事援助費	430		1000	
		備品援助	212		250	
		小計		1023		1910
支出計			7971		11248	
翌年度繰越			207218		209057	

平成24年度活動報告

- 5月12日 第1回幹事会開催
- 6月16日 千葉支部総会開催
- 7月8日 中国東支部総会開催
- 7月28日 静岡支部総会開催
- 9月1日 北海道支部総会開催
- 9月8日 第2回幹事会開催
- 9月15日 栃木支部総会開催
- 10月13日 四国支部総会開催
- 10月27日 秋田支部総会開催
- 10月27日 茨城支部総会開催
- 11月3日 青森支部総会開催
- 11月10日 近畿支部総会開催
- 11月10日 北九州支部総会開催
- 11月17日 岩手支部総会開催
- 12月8日 群馬支部総会開催
- 平成25年
- 2月3日 社会福祉支部総会
- 2月23日 第3回幹事会開催
- 3月1日 中華民国支部総会開催
- 3月2日 観光クラブ支部総会開催

平成 25年度 第1回 幹事会開催

平成25年5月11日に新松戸キャンパス205教室にて、本年度最初となる第1回幹事会が開催された。役員および幹事 34名、事務局6名、オブザーバー2名が参加されました。まず、佐藤会長より挨拶があり、次に各議題について審議に入りました。年度はじめということで例年通り、前年度決算(報告、承認)、本年度予算および事業計画等が主として審議されました。



挨拶される佐藤会長



会長議事進行



審議する幹事

審議事項

1. 人事異動

前回発表があった支部長が新たに出席され、挨拶があった

南九州支部長 青木禎一郎 2期
四国支部長 松永敏男 2期
山形支部長 五十嵐氏 今回欠席

新事務局長が選任され了承された
齊藤哲三郎 7期

池澤前事務局長 3月31日退任

南九州支部長 青木氏



四国支部長 松永氏



齊藤新事務局長



2. 平成24年度決算書

平成25年度予算書

前回幹事会報告通り承認された。

3. 平成25年度事業計画について

前回幹事会報告通り承認された。

(解説 経費負担の大きいものについて)

会議費

幹事会費 120万、主に会議招集に伴う交通費負担 前年4回を3回にした。幹事数も組織的に充足してきたのでこれが現状での上限か

支部総会支援費 352万

今回支援は通信関係の固定的費用(本部)と参加会員数スライド実績支援(支部)に分け管理区も分けた。従来1開催当たりの固定額支援では会員数を考慮しないものであったので今回の改訂は上限があるとはいえ妥当である。この費目は最大かつ支部活性化で開催数が多くなること、校友会会員(卒業生)の毎年増加、よって経費も定量的に増加する。支部総会出席実績数にスライドする支援は使い次第で効果は期待できる。しかし案内状発信数あたりの出席者数を考えるとその通信費の効果はどうか。ただし案内状形式は各支部に任せられているので一概に言えないが、出欠確認の他に、消息確認、名簿情報のメンテナンス、総会を開催しているとの限定的な広報などの効果はあるがその方法に対して費用対効果の再評価が必要かもしれない。(無条件に全会員に発信しない、広報機能をより織り込んだ通信はがき、新たな手段の検討が必要)

海外関係 58万 内交通費44万
活性化対策として過渡的なもの

広報

ホームページ関係 140万

固定的。新たな手段として作業中、流動的。

校友会ガイドブック 30万

固定的(主に卒業生用)

在学生援助金 66万 効果あり 固定的
行事

卒業記念品代 204万 固定
会員への償還の意味もある。

4. 創立50周年記念事業について

前回(2月幹事会)事業案の事前提出と提出者の口頭説明を受け今回再度取りまとめ、整理して再確認した。

提案についてはソフト、ハード共にほぼ幾つかのジャンルに集約される。

記念誌一草創期よりの歩み(0Bよりの学生生活視点)資料収集、講演会、ネット情報を使った交流体制作り(強化費)、図書贈呈一記念文庫、応援歌、記念品、貢献職員の顕彰、学生主催記念事業への特別支援一50周年つくばね祭、運動部、50周年全世代総参加ホームカミングデー

取り組み方についての再確認があった

全体で事業内容、取り組み方について審議し方向性を認識し、一部問題点も把握で

きた。しかし具体化には全体会議のみの審議では進まない。検討委員(会)、事業に対する予算規模と実施期間の設定、など大枠を固め次に進めなければならない。

前回の意見集約では今回の幹事会でその辺のたたき台をとのことであった。

再度次回その辺を踏まえて取り組みを進めて欲しいとの確認があった。

今回特に提案事項の一部について学校事務局より補足説明があった。

○奨学金制度について

在学生の急な家計急迫による就学困難者等への奨学制度(給付、貸与)はある。但し、奨学金制度の重複、並立は歓迎すべきものであること。

○留学支援制度について

制度はあるが、現時点では人数的には限定的である。(数名から十数名)

5. 学校法人日通学園流通経済大学評議員の選出について

本年5月31日 2年任期満了

現評議員を一部再任とする事務局案がしめされたが現校友会役員、幹事よりの推薦を原則とする、という意見が出され概ね了承された。

よって、事務局案は原則に沿って再考するとされ、推薦人事は役員に一任となった。

6. 支部総会開催について

出席の各支部長より各支部の状況と本年度の支部総会の開催予定について報告があった。(詳細はホームページなどでご確認ください)

7. R K Uメールサービスの利用について

平成25年4月より在学中使用したメールアドレスをそのまま卒業後も継続使用可能とした。既卒の校友会員の利用については申込にて利用可能となる仕組みを構築中である。完成し次第その手続きを提示します。

なお緊急にて使用希望の場合、本部にて別途手続きにて登録可能であるので希望者は連絡を下さい。

校 友 の 広 場

RKU社会福祉士会総会

2月3日(日) 本学新松戸キャンパスにて

流通経済大学新松戸キャンパスにおいて、総会及び交流会を開催しました。例年は、OB・OGの出席のみでしたが、今年度は現役の学生、ほぼ卒業が決まった学生が多数参加してくれました。総会の後、交流会として、OB・OGからのメッセージとして現役の学生に対し、福祉現場の置かれている状況、その中での頑張っていることなどディスカッション形式で行いました。学生から現場の生の声が聞けたと喜ばれ、また、自分達会のメンバーも、みんなの話を聞いてやる気が出たと、双方にとって良い会となりました。その後、大学前のシーフードレストランで会食をしながら更に、交流が深められました。

社会福祉士会でブログはこちら

http://rkucsw.at.webry.info/201302/article_1.html

社会福祉士会総会



みちのく支部総会

2月16日(土) 仙台市
ガーデンパレス 2 f 日本料理 楓

17:00~19:00

○参加者

小原 文男(支部長 7期)、山口 稔(1期) 石田 幹雄(3期)、岩田 暁(4期)、渡辺 雄史(5期) 今野 晶則(10期)、武田 久義(12期)、西方 正博(12期) 佐藤 元彦(13期)、小野寺秀典(15期)、蜂谷 直之(18期) 岡部 詩(27期)、鈴木 真一(29期)、菅原 崇夫(30期) 菅原(櫻井)美保(31期)、渡邊 重光(34期) 佐藤 克實(校友会長 1期)、我妻 実(秋田支部長 1期) 五十嵐 進(山形 4期)、堀 明彦(山形 22期) 佐藤 和夫(山形 31期)、加藤 真由美(山形 31期) 黒田 義一(事務局 8期) (計23名)

○議題

1. 支部長挨拶

小原みちのく支部長より開会の挨拶とともに、本日の総会は、支部総会の輪を広める必要から、山形県在住の会員の参加者を募った結果、4名の参加を得たと報告し、後ほど、山形支部の設立に向けて提案したいと補足した。

2. 来賓挨拶

佐藤校友会長より、昨年4月から、石川前会長の後任として就任した経緯を説明した後、本日の参加者に対し、校友会活動についての協力を求めた。

次に、我妻秋田支部長より、みちのく支部総会への招待に対する御礼の挨拶があった。

3. 大学及び校友会の現状

続いて、校友会事務局の黒田から、大学の現状と校友会の活動状況について報告した。

4. 会計報告

次に、会計の小野寺秀典氏より2012年度の収支報告と、会計監査の西方正博氏より監査報告があり、承認された。

5. 乾杯

続いて、出席者を代表して山口 稔氏が乾杯の音頭をとり、暫時、歓談の時間となった。

6. 自己紹介

30分ほど経過した後、着席順に大学時代の思い出や近況を含めて自己紹介を行った。

7. その他

続いて、小原支部長より山形支部設立について提案があり、関係者による協議が行われた。

その結果、五十嵐 進氏が暫定支部長として選任され、支部総会の開催に向けて進めることとなった。

また、山形支部総会の早期開催のため、みちのく支部が全面的に支援することが確認された。

みちのく支部は、以前から秋田や岩手支部等との交流が図られており、昨年の歓談の中でも、関係支部と共同して、地域支部(東北支部)としての組織固めを目指したいとの構想を伺っている。

今回の山形支部設立の支援を機に、近い将来、東北6県の支部の結末が図られるものであろうとの強い意気込みを感じた。是非とも、校友の親睦の輪を広げていきたい。

また、本日の総会にはOGが2名参加しており、女性会員の参加を促す意味からも、適正な会費(金額)を検討すべきではないかとの意見があり、今後に向けて改善することとなった。

終了後、近隣の居酒屋で二次会、続いて、国分町において三次会が開催され、多くの校友との懇親が深められた。

報告 事務局 黒田

校 友 校 の 広 場

東京支部総会

5月18日

16:00~

出席者（敬称略）

1期 岡本 正耿、佐藤 克實、土橋 力、

横山 政明、細田 昭司、

3期 薄田 春男、工藤 文夫、遠藤 守拙、

尾形 郁郎、島田 秀男、

4期 川合 求、田中 博也

5期 大友 隆一、

6期 福田 洋、

7期 荻沼 国明、齊藤 哲三郎

10期 安藤 伸樹、赤石 守、

17期 木村 尚義

18期 林 聡

19期 島田 義久

21期 川口 勝也

24期 坂井 佳貴

25期 佐野 聡

26期 大原 敏裕、茂野 洋二郎、金 昶洙

28期 犬飼 功一、井田 和希

32期 松村 和彦

33期 片山 智裕、鶴間 栄輝、

41期 春山 真則

44期 貞弘 諭史

総会、パーティ

16時の定刻に薄田副支部長の司会で開始。

校友会岡本東京支部長の挨拶。

校友会齊藤事務局長から校友会と母校について。

佐藤校友会会長からご挨拶と乾杯の音頭をいただきパーティに入った。

その後 全出席者が自己紹介と要望等を持ち時間2分程度で発言した。

事務局の赤石総務部長より母校並びに附属高校の現状について説明があった。

日本通運の安藤伸樹役員より大学開校時の出捐母体である日本通運の現状を含めたご挨拶があった。

約2時間の懇親会を行い、田中校友会副会長の中締めの音頭で終了した。

上記出席者名簿のとおり、1期生から44期生まで幅広い年代層が集まり和気あいあいと懇親を深め充実した支部総会となりました。



編 集 後 記

平成25年度初幹事会が新松戸キャンパスにて開催されました。

今回はいつもの大会議室では入りきれず別教室となりました。

これは支部組織の形が整い、人的陣容も整ってきた結果とおもわれます。

組織柄常に100パーセントの出席は望めませんが一部を除きほぼ全国的組織の形が目に見えるようになった現われと思われ喜ばしいかぎりです。

ここ数年にわたる本部方針の策定とその実現に邁進された執行部、および、常に母校におもいをいたす各地に散った校友会会員および現地で組織のとりまとめにあ

たられた方々には深く敬意を払いたいと思います。

だがまた一方で役員、幹事の人事に異動が続きました。

体調不調の方、病気治療の方におかれましては早いご回復をお祈りする次第ではあります。

しかし現在校友会活動を担っておられる方々の年代を思うと事実として健康に注意を払わねばならないときにきたのかなとも思います。

大学の50周年事業も検討されております。あれから半世紀も経ったのかといろいろ思われる此の頃です。

S 生記

記事募集

会員同士の交流の情報をお寄せください。飲み会、記念パーティー、ゴルフ会、クラブ OB会など。また、学生時代の思い出などでも結構です。はがき、手紙、メールなどでまずお知らせください。必要ならこちらからご連絡致します。

なお、今回の規約改正により支部総会の補助申請には集合写真等での参加人数の確認が必要となりました。少しかた苦しくなりました。それはそれで担当に任せて、個人でも、会員同士の交歓のスナップ写真をどンドンお送り下さい。言葉での説明より実際の楽しい風景の方が会合の雰囲気をもっと豊かに伝えてくれます。

校友会事務局 会報係まで